東海ノア
（東海 NOAH）

東海ノア通信

［原子力事業所安全協力協定］

第29号（平成１９年９月発行）
東 海 ノ ア 協 定 事 務 局
（原子力機構・原子力科学研究所内）
Telephone：029-282-5801
E-mail：t-noah@jaea.go.jp

東海ノア通信 第２９号 をお届けします。

東海ノアでは「平成１９年度年間基本活動計画」に基づく活動を展開しております。本号は、東海ノアの日頃の活動を紹介するとともに、協定の目的の一つでもある情報の共有化のための記事も紹介しております。

東海ノア協定に基づく活動状況は、ホームページでも紹介しています。

アドレスは、http://tnoah.tokai-sc.jaea.go.jp/ です。

トピックス

☆活動状況

- 活動推進幹事会の開催状況
- 自主保安に係る点検協力活動
- 情報交換に関する協力活動
- 安全教育に関する協力活動
- 緊急時に対応するための協力活動

☆加盟事業所からの事業所紹介

☆委員、幹事の交代について

☆今後の活動予定

東海 NOAH：
東海村（東海）、那珂市（N）、大洗町（O）、旧旭村（A）…現鉾田市、ひたちなか市（H）

☆活動状況

活動推進幹事会の開催状況

〇第３９回活動推進幹事会

開 催 日：平成１９年９月19日（水）

開催場所：原子力機構 東海研究開発センター 原子力科学研究所

主な議題：

(1) 平成１９年度上期の活動状況と下期の活動について

(2) 平成１９年度「自主保安に係る点検協力活動」の結果及び実施について

(3) 平成１９年度通報連絡訓練の実施結果について

①東海ノア通報連絡訓練実施結果

②茨城県通報連絡訓練実施結果

(4) 東海ノア通信第２９号の発行について

(5) 平成１９年度東海ノア総合訓練の実施について

(6) 平成１９年度第１回安全教育研修の実施について

(7) 緊急事態協力活動要領の一部改正について

(8) 平成 19 年度茨城県原子力総合防災訓練における東海ノアの対応について

(9) 「安全協力委員会」の委員長及び副委員長、並びに「緊急事態協力活動本部」の本部長及び副本部長の選出について

(10) 「活動推進幹事会」の幹事長及び副幹事長の選出について

自主保安に係る点検協力活動

協定に加盟している事業所を対象に、核燃料物質使用施設、放射性物質取扱施設等の安全担当実務者及び防火管理の安全担当実務者から成る専門家を派遣し、安全管理について様々な観点から確認、意見交換を行い安全管理の向上に役立てるための活動を行っております。

○平成１９年度第１回自主保安に係る点検協力活動

⑴実施日　　平成１９年７月２５日（水）

⑵事業所名　　第一化学薬品株式会社　薬物動態研究所

⑶点検協力実施者　３名

・日本原子力発電株式会社　東海・東海第二発電所　　飯代　晃

・日本核燃料開発株式会社　　土肥　英司

・三菱マテリアル株式会社エネルギー事業センター
　那珂エネルギー開発研究所　　土屋　晴雄

（点検協力活動の様子）

施設の安全管理について意見交換を行う関係者
（左側が「点検協力実施者」、右側が「事業所の対応者」）

現場の説明を受ける「点検協力実施者」（左側）

第２回目の点検協力活動は、核物質管理センター 東海保障措置センターを対象に、１１月に実施予定です。

情報交換に関する協力活動

東海ノアでは、事故、トラブル情報及び安全管理に有用な情報について情報交換を行い、安全意識の高揚に努めています。

○トラブル情報の交換

⑴　原子力機構　大洗研究開発センター　高速実験炉「常陽」管理区域における放射性物質を含む水の漏えいの確認について４月 26 日プレス発表があり、事務局より加盟事業所へ、情報の配信を行いました。

⑵　原子力機構　東海研究開発センター　原子力科学研究所　「ＪＲＲ－４手動停止」について６月 13 日プレス発表があり、事務局より加盟事業所へ、情報の配信を行いました。

⑶　原子力機構　東海研究開発センター　原子力科学研究所　「モックアップ建屋東側共同溝の汚染」について６月 26 日プレス発表があり、事務局より加盟事業所へ、情報の配信を行いました。

⑷　日揮㈱　「技術研究所第 1 研究棟ＢＳＦ装置における火災について」(非管理区域)※当該施設においては放射性物質を使用していない。

７月 23 日プレス発表があり、事務局より加盟事業所へ、情報の配信を行いました。

安全教育に関する協力活動

安全講演会が原子力機構において開催され、加盟事業所の社員が参加しました。

⑴安全講演会「ヒューマンエラーと安全管理」

開催日：７月４日（水）

講　師：中村　隆宏氏　㈱労働安全衛生総合研究所　主任研究員

核燃料サイクル工学研究所
アトムワールド講堂で行われた講演会の様子

３事業所　３名参加

⑵安全講演会「安全活動を通じた人づくり　モノづくり」トヨタ自動車の実践事例

開催日：７月９日（月）

講　師：古沢　登氏　菱栄工機(株)代表取締役専務
(元トヨタ自動車安全健康推進室部長)

大洗研究開発センター
安全情報交流棟　研修ホールで行われた講演会の様子

５事業所　６名参加

緊急時に対応するための協力活動

○茨城県通報連絡訓練への参加

今年度も６月から８月まで、「茨城県原子力施設における事故・故障発生時の通報連絡訓練」が実施されました。東海ノアでは、訓練への参加協力を行い、機能の維持向上に努めております。

☆加盟事業所からの事業所紹介

マネジメントシステムの取り組みについて

日本照射サービス株式会社
東海センター

当社東海センターは、住友金属鉱山㈱の子会社として1996年に設立され、1998年の操業開始以来10年にわたり、コバルト60を線源としたガンマ線照射施設を用いて、医療機器、理化学器材、食品包材等の滅菌、及び工業材料の改質等の広範囲な受託照射サービスを実施してきました。

このためＲＩの使用許可及び医療機器の製造業許可を取得すると共に、品質マネジメントシステムに関するISO9001、ISO13485、EN552等、及び環境マネジメントシステムに関するISO14001の各国際規格について、認証を取得しています。

当センターではこの2007年を、PDCAを活用し業務改善を推進して事業基盤の質を向上させる年と位置付けており、次の４つの目標を掲げております。

1.無事故・無災害継続

1)リスクアセスメントの一層の推進によるOHSMSの効果的運用

2)PDCAによるISO14001の確実な運用

2.設備管理徹底でゼロトラブル達成

1)設備管理要領の充実と効果的運用

2)保全体制の整備・強化

3.世界に通用できる品質システムの構築

1)品質保証体制の再構築

2)不適合の原因除去と大幅削減

3)線量測定、照射技術力向上

4.全社一丸となった提案型営業活動推進

1)営業・操業情報の共有と活用

2)顧客満足度のさらなる向上

これらの目標を達成するために、PDCA を回しながら労働安全衛生(OHSMS)、品質(QMS)、環境(EMS)、リスク(RMS)の各マネジメントシステ

ムを運用し、業務を確実に推進しようとしています。

ここで、QMS 及び EMS については先に記した国際規格の認証を取得しております。また、OHSMS については、公的機関による認証取得には至っておりませんが厚生労働省の指針に基づいた活動を行なっています。

一方、RMS については、住友金属鉱山グループ内での独自の取り組みに沿った方法で、リスク管理を行なっており、当センターの場合は、顕在化により相当のダメージを受けると考えられる 15 件のリスクを「リスク登録票」に登録して、予防・回避措置、事前緩和措置などを予め規定しております。

当センターでは、「マネジメントシステム推進委員会」という社内組織により、これら４つのマネジメントシステムを統合的に管理しています。この委員会の委員は、各マネジメントシステムの責任者及び各部課室の長（実際には両者を兼ねる者が多い）から構成されており、毎月開催される委員会にて、進捗状況やコンプライアンス上の懸案事項等について審議を行なっております。

これらの諸活動を通じて、今後とも安全確保・品質確保に更なる努力を継続して参りたいと考えております。

以上

☆委員、幹事の交代について

安全協力委員会及び推進幹事会のメンバーが交代となりました。

新たに委員、幹事となられた方は、次のとおりです。

（敬称略）

(1)安全協力委員会 委員

・住友金属鉱山(株)　エネルギー・環境事業部技術センター
　センター長　宮嶋　良樹　（７月から）

・第一化学薬品(株)　薬物動態研究所
　所長　二宮　真一　（７月から）

・ニュークリア・デベロップメント(株)
　代表取締役社長　田村　仁　（７月から）

⑵ 活動推進幹事会 幹事

・日本原子力発電株式会社　東海発電所・東海第二発電所
（副幹事長）　副所長　　横山　元　（７月から）

・原子燃料工業株式会社　東海事業所
副所長　　田尻　寛　（７月から）

☆今後の活動予定

・第１７回安全協力委員会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０月
・東海ノア総合訓練　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０月
・平成１９年度 第１回安全教育研修・・・・・・・・・・・・・１１月
・平成１９年度 第２回自主保安に係る点検協力活動・・・・１１月
・第４０回活動推進幹事会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・１２月

編集後記

先日、旅行に行ってきました。久しぶりに知らない道を走ると楽しいものです。しかし、困るのは道路標識です。木の枝で見えにくいやら一箇所に多数の標識がついている場合、つい苦笑いをしてしまいます。当初の経緯について知っている人はもちろんのことでしょうが、初めて通る人にとって瞬時に判断することはなかなか厳しいです、表示は分りやすく簡潔に表示にしてほしい、それがエラー防止の基本とはわかってはいるのですが、表示表現というのは案外難しく、工夫が必要だ。編集に携わるものとして肝に銘じたい。

東海ノア
（東海 NOAH）

東海ノア通信

記事の中で、「日本原子力研究開発機構」は
「原子力機構」と略称で記載しております。